食品等流通持続化モデル総合対策事業のうち農産物等物流業務効率化推進事業に関する事業評価票

	都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況					事業内容	
					基準年 (計画策定時)	目標年	目標値	達成度合	具体的な取組内容	(検討会構成員、実施回数、 導入した技術、設備・機器等の 内容等)	委員所見
1	福岡県	福岡県青果物物流合理化協議会		輸送効率の向上 時間当たり 輸送経費の低減 (▲20%)			時間当たりの 輸送経(円/hr) 9,075円/hr	103%	への共同輸送を実施。結果の検 証を行った。	・構成員は、生産者団体1、物流事業者1、実需者1及び県。 ・品質面の調査・分析のため現地検討会を開催する予定であったが、コロナ禍で中止。 (別途出荷先へのヒアリングを実施。) ・幹線輸送を20回実施。(1月11日~22日及び 2月3日~26日の間)	継続的で安定した運送体制の構築が図られており、成果目標を達成できていることから、一定の事業成果があげられたと認められる。
2	福岡県	福岡大城青果物物流合理化協議会		輸送効率の向上 時間当たり 輸送経費の低減 (▲22%)		輸送経(円/hr)	時間当たりの 輸送経(円/hr) 11,099円/hr	119%	JA福岡大城とJAふくれんが協力 し、管内のいちご集荷施設を集 荷拠点として、5つの集荷施設 の関東市場向け共同輸送を実 施。結果の検証を行った。(品 目:いちご(あまおう)を主と し、アスパラガス、青ねぎ 等。)	・構成員は、生産者団体1、物流事業者1、 実需者1及び県。 ・関東市場において、結果検討会を実施。(3 月23、24日) ・大型トレーラー及び船舶を用いた共同輸送 を6回実施。(2月14日~3月22日の間)	青果物における長距離輸送の安定化・効率化が図られており、成果目標を達成していることから、一定の事業成果があったと認められる。